

ビルエキスパート Ver.7 新製品のご紹介

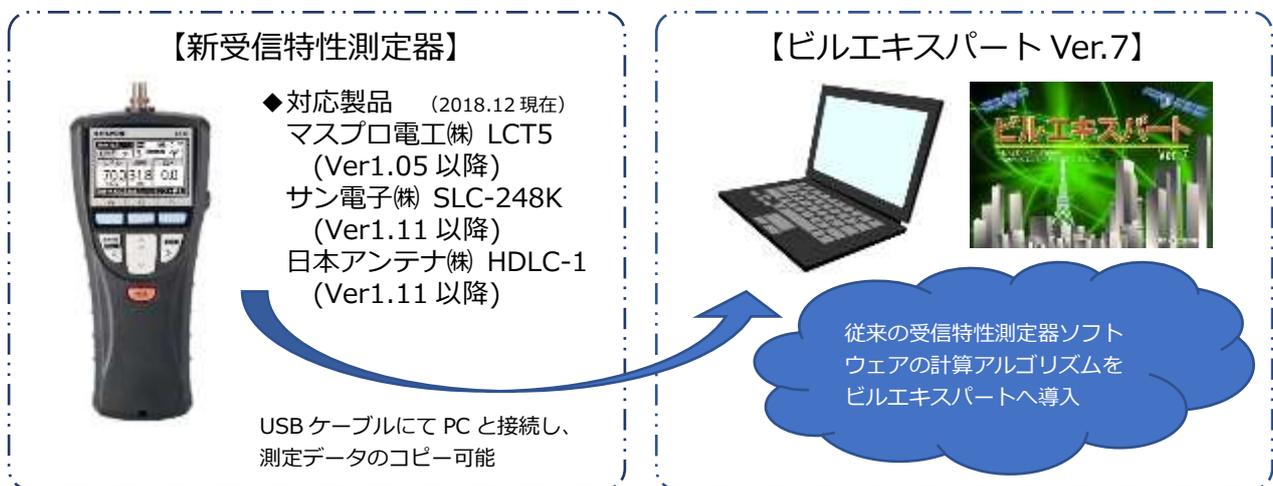
○おもな特徴

- 新受信特性測定器のデータ取り込みと予測計算及び報告書作成に対応
(従来の受信特性測定器「デジタルふいばー」のデータ取り込みも可能)
- しゃへい障害予測における要確認範囲計算に対応
- Windows 10 に対応

○システム構成

- 新受信特性測定器と組み合わせることで、フィールド調査から予測計算、報告書作成まで対応可能
- 新受信特性測定器は、レベルチェッカーの機能拡張品を採用した簡易なシステム構成
- 測定器と PC を USB 接続することで、測定データのコピーが可能
- 所定のフォルダ構成*¹を作成することにより、ビルエキスパート Ver.7 への測定データの一括取り込みが可能

* 1…別紙参照



○お問い合わせ先

◇ ビルエキスパート Ver.7 (※新規ライセンス版のみ)

製品に関するお問い合わせは下記へ

(一社) 日本CATV技術協会

URL : <http://www.catv.or.jp/jctea/research/expert/tool.html>

E-mail : jctea-info@catv.or.jp

◇ 新受信特性測定器

製品の販売、その他に関するお問い合わせは下記へ

➤ マスプロ電工 (株)

URL : https://www.maspro.co.jp/support/checker/update/lct5_1811.html

E-mail : syuto-system@maspro.co.jp (システム営業部首都圏システム営業G)

➤ サン電子 (株)

URL : https://sun-ele.co.jp/products/checker-firmware/checker_info.html

E-mail : minezawa@sun-ele.co.jp (機器事業部 峯澤)

➤ 日本アンテナ (株)

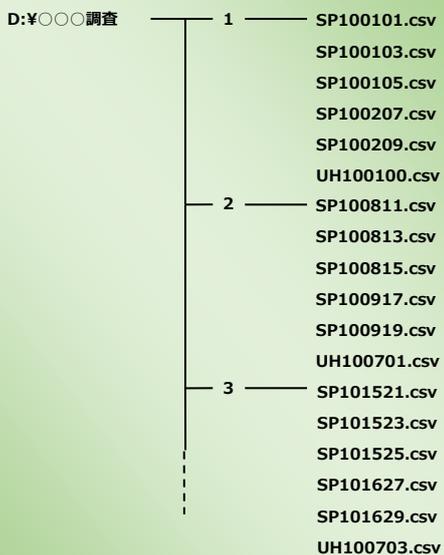
URL : https://www.nippon-antenna.co.jp/ja/product/faq/faq_DL.html

E-mail : HPQ1@nippon-antenna.co.jp

ビルエキスパート Ver.7 への新受信特性測定器データの取り込み方法

- ① 新受信特性測定器を USB ケーブルで PC に接続します。
- ② PC 側の任意のドライブに測定データ格納用フォルダを作成します。
(下記の作成手順を参照)
- ③ 測定器内蔵の microSD カードに保存された測定データを PC 上に作成したフォルダにコピーします。
- ④ ビルエキスパート Ver.7 の調査結果入力の新 f 特性取込にて、測定データの格納フォルダを指定し、実行します。

<新 f 特性取込時に必要なフォルダ構成>



<作成手順>

- ①任意のドライブに測定データを格納するためのフォルダを作成してください。
- ②作成したフォルダ内に、地点毎に半角数字で1,2,3...の順にフォルダを作成してください。
※地点番号は2,4,8...のように飛んでも構いません。
- ③各地点フォルダに地点毎の測定データファイルをコピーしてください。
 - SPxxxxxx.csv : チャンネル毎の波形データファイル (必須)
 - UHxxxxxx.csv : チャンネルテーブル指定による端子電圧、BER、MER 連続測定データファイル (無くても良い)
 - SPxxxxxx.bmp などの画像ファイルはコピー不要

